

3年

Unit5 Plastic Waste

Unitの特徴・付けたい力

①学習指導要領 1目標(3)ウ ※活動 言語の働き(工) 意見や意図を伝える

本文のトピックは他教科でも学ぶ機会が多い環境問題であり、生徒はある程度の知識や問題意識をもっている。登場人物たちのプレゼンテーションや会話を聞き取り、記事を読み取ることで、考えを深め、環境を守るために何ができるのかを具体的に考え、自分の考えを伝え合うことができるようにしたい。

②学習指導要領 1目標(4)イ ※活動 言語の働き(ウ) 事実・情報を伝える

新出言語材料である関係代名詞、接触節を学ぶことで、名詞を詳しく説明することができるようになる。生徒が、外国の方に日本の物や食べ物などをわかりやすく紹介することができるようになることが期待できる。

登場人物の環境問題についてのプレゼンテーションから、わかりやすい伝え方や写真・データの選び方などの表現方法の良さを学び、テーマを変えての自分のプレゼンテーションに活用させることで、相手にわかりやすく情報を伝えられるようにしたい。

ICT・デジタル教科書の活用について

～飽きずに、繰り返し、何度も取り組ませる工夫～

(1) 指導者用デジタル教科書「本文ドラマ」の活用

内容について発問し、聞く目的をもたせた上で、指導者用デジタル教科書をプロジェクタに投影し、字幕なしで視聴させる。聞き取りが難しいところは「本文ドラマ」の「はやさ」を落としたり、「本文ドラマ」から「本文」に切り替えて、単語を「マスク」で隠して語数のヒントのみを与えて聞かせたり、聞こえた通りに発音させてみるなどして、複数回聞かせる。

(2) 学習者用デジタル教科書「本文ドラマ」の活用

①何度も聞く活動 Unit5 Part1&2

学習者用デジタル教科書を使って「本文ドラマ」を視聴させ、登場人物たちの伝え方（声の大きさ、目線、ジェスチャー、スピード、間の取り方）や写真・データの選び方の良さを書き出させる。そのために、生徒は自分のペースで何度も繰り返し視聴し、必然的に、自然なスピードの英語を繰り返し聞くことになる。また、ペアやグループで画面を指さしながら、気づきを共有させることもできる。

②自己表現につなげるための、何度も音読練習をする活動 Unit5 Part3

内容理解の活動後、4人グループで音読練習をさせる。その際、1台のタブレットで字幕を表示した「本文ドラマ」を流し、オーバーラッピング（音声を流しながら音読）させる。「はやさ」を0.75からはじめ、役割を入れ替えながら練習させる。そのあとの自己表現活動につなげる。

～学校の授業と家庭学習の連動～

(3) 学習者用デジタル教科書「フラッシュカード」「本文」の活用

①「フラッシュカード」の「覚えたチェック」

1回目は英語⇒日本語を言えるか、2回目は日本語⇒英語を発音できるか、3回目は日本語⇒英語をノートに書けるかを宿題に課し、「もう一回ボックス」が空になるまで取り組ませる。

②「本文」

最初は音読練習、次に「和訳」を表示させて「マスク」機能で単語を隠して音読練習、最後は画面を見ながらノートに書く練習に活用させる。

全時学習活動（全 10 時間）

単元を貫く学習目標を「相手に気持ちや考えが伝わるプレゼンテーションができるようになる」と設定し、扱うトピックを環境問題と日本文化の 2 つとする。まず、環境問題についての本文（プレゼンテーションや会話）を理解する活動や音読する活動を通して、自分の生活を振り返り、考えを深め、伝え合う活動に取り組ませる。単元終末には、トピックを日本文化と変え、伝え方を工夫して魅力が伝わるプレゼンテーションを行う準備と動画作成に取り組ませる。

時	教科書	主な学習活動（ICT・デジタル教科書の活用）
1	Daily Life Scene3 ポスター Unit5 扉	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを読み、必要な情報を見つけ、読み取る活動（学習者用デジタル教科書でポスターを表示させ、必要な情報を見つけてペンで色をつけさせる） ・Unit5 のプレゼンテーションや会話を聞き概要をつかませ、本文のテーマについて想起する活動（指導者用デジタル教科書「本文ドラマ」）
2	Unit5 Part1 本文	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラマを視聴し、本文の内容を理解する活動（指導者用デジタル教科書「本文ドラマ」） ・ドラマを視聴し、登場人物のプレゼンテーションの良さを見つけ、書き出す活動（学習者用デジタル教科書「本文ドラマ」）
3	Unit5 Part2 本文	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習（学習者用デジタル教科書「フラッシュカード」） ・ドラマを視聴し、本文の内容を理解する活動（指導者用デジタル教科書「本文ドラマ」） ・ドラマを視聴し、登場人物のプレゼンテーションの良さを見つけ、書き出す活動（学習者用デジタル教科書「本文ドラマ」）
4	Unit5 Part2 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習（学習者用デジタル教科書「フラッシュカード」） ・音読練習（学習者用デジタル教科書「本文」「マスク」機能） ・自分の持ち物や身の回りの人について紹介する活動
5	Unit5 Part3 本文	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習（学習者用デジタル教科書「フラッシュカード」） ・ドラマを視聴し、本文の内容を理解する活動（指導者用デジタル教科書「<u>本文ドラマ</u>」） ・音読練習（学習者用デジタル教科書「本文」「マスク」機能）
★6	Unit5 Part3 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習（指導者用デジタル教科書「本文ドラマ」） ・ドラマを視聴し、登場人物のセリフにオーバーラッピングする活動（学習者用デジタル教科書「本文ドラマ」） ・聞いたり読んだりした表現を使って、環境問題について意見や考えを伝え合う活動（学習者用デジタル教科書、Google Classroom）
7	Unit5 Goal Reading	段落ごとのプレゼンテーションの記事を読み、話の流れを読み取って、正しい順序でつなげる活動
8	Unit5 Goal Speaking	環境問題について、自分たちにできること、すべきことを整理し、伝え合う活動。
9	Unit5 Part1 活動①	日本文化について外国の方にプレゼンテーションを行うための準備活動（インターネット検索機能、Google スライド）
10	Unit5 Part1 活動②	日本文化について外国の方にプレゼンテーションを行い、動画を作成して提出する活動（カメラ・マイク機能、Google スライド、Google Classroom）

★6 時の指導計画例

<p>◇学習活動・指導上の留意点 ◆ICT・デジタル教科書の活用場面</p>	<p>◆生徒の反応 □教師の感想</p>
<p>導入：前時までの学習を振り返り、本時の学習課題を理解する。</p> <p>◆指導者用デジタル教科書で Unit5 Part3 の「本文ドラマ」を字幕なしで視聴し、質問に答え、内容を再確認する。</p>  <p>◇本時の学習課題を確認する 「環境問題について自分の生活を振り返り、できることやすべきことなど、意見や考えを伝え合うことができるようになる。」</p>	<p>◆教師の発問に対する答えを見つけようと、集中してドラマを視聴していた。</p> <p>□音声だけを聞かせるよりも集中できており、リスニングが苦手な生徒も興味をもって聞き取ろうとする姿が見られた。</p>
<p>展開 1：Unit5 Part3 の会話を発音できるように練習する。</p> <p>◆学習者用デジタル教科書「本文ドラマ」を字幕付きで再生し、グループでオーバーラッピングする。</p> <p>◇スピード調整で自分に合わせた速度で練習する。 (最初は速度×0.75→慣れてきたら速度×1 など)</p>  <p>展開 2：Tina の最後のセリフ“Reducing plastic waste is a creative challenge as well as an environmental one.”に注目し、環境を守るために①自分が普段取り組んでいること、②これからすべきこと、③自分たちにもできると思うことを伝え合う。</p> <p>◆デジタル教科書で本文を表示し、登場人物が上記①を話している部分を赤、②を青、③を緑で色を付ける。また、④相手の発言に反応している表現に黄で色を付ける。</p> <p>Tina: This is an article I found. It's about companies that have started to reduce plastic waste. A major coffee shop chain has replaced plastic straws with paper straws.</p> <p>Kota: Yes. I've heard about that.</p> <p>Hairi: We should make an effort to reduce plastic waste.</p> <p>Eri: I agree. I always go shopping with a canvas bag.</p> <p>Tina: I think we can ask stores to change their bags to paper bags.</p> <p>Kota: If we stop using plastic bags and containers, we'll use things which are made from natural materials like cotton or wood. I think that's cool.</p> <p>Tina: Reducing plastic waste is a creative challenge as well as an environmental one.</p>	<p>◆自分で好みのスピードを変えることができるので、無理なく取り組んでいた。発音が難しい部分を何度も再生し、聞いて練習する姿が見られた。英語特有の文字と聞こえ方が違う部分は特に繰り返し再生していた。</p> <p>□紙の教科書での音読練習ではあきらめたり、飽きてしまったりする生徒もいるが、登場人物に合わせるという課題になると、ただ発音をするだけでなく、「間やあいづち」などの要素もあるため、グループで協力して最後まで取り組む姿が見られ、以前よりも音読練習に意欲的になっていると感じた。</p> <p>□どこに何が書いてあるのかを見つけさせ、色を付ける活動を繰り返すことで読むスピードが上がったと感じた。</p>

◇「発想力を必要とする課題」という言葉から、環境問題について話し合うことの意義を共有する。

◇ P71 の speak に取り組む。その際、①普段していることについて質問して答えるだけでなく、②これからすべきことや③できると思うこと、④相手の発言への反応などを付け加えて会話が続けるように努力する。

◆話す活動の前に、読む活動でつけたパンの【色】を確認する。

①「普段、していることは？」⇒【赤】

②「すべきだと思うことは？」⇒【青】

③「できると思うことは？」⇒【緑】

④「相手の発言への反応は？」⇒【黄】

会話例)

A: What is an eco-friendly activity you do?

B: I always recycle plastic bottles. 【赤】

A: Me too. I think that's good. 【黄】

I think that we can use our own water bottles.

B: I agree. 【黄】 We should do that at school. 【緑】

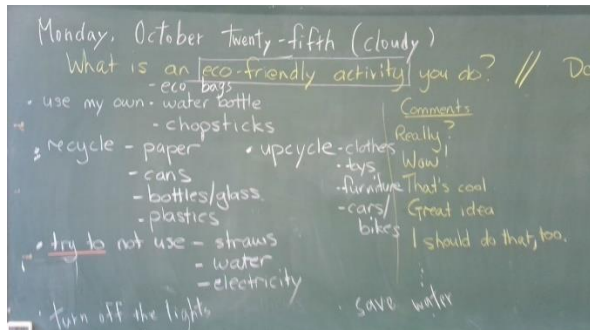
We should also turn off the lights when we don't use them. 【緑】

A: We should try that too. 【黄】

まとめ：意見を整理し、今日の学習を振り返る。

◇グループで出た意見を学級で共有する。

◆教師が黒板に意見を板書し、写真に撮って、Google Classroom に貼りつける。



◆他クラスの板書も Google Classroom に貼りつけ、クラスを超えて考えを共有できるようにする。

□読み取らせる（線を引かせる）箇所を会話活動のポイントにしておくことで、生徒に話す活動で教科書のどこを参照すればいいか気付かせ、考えや気持ちを表現できるように促すことができた。

◆十分発音練習をさせた本文の中から、今日の会話活動で使える表現を視覚的に目立たせることで、生徒は読んだ表現を活用しようとしていた。

◆ドラマの登場人物が良いお手本となり、会話活動でも、“I agree.” “I think so too.” “I think that's cool,” “That's a good idea.”などのリアクションが自然にできていた。リアクションをしなから聞く姿勢ができていたのでやり取りが活発になり、会話のキャッチボールがより長く続いていた。

□言語上のエラーはたくさん見られたが、ここでは修正を行わず、最後のまとめの活動に回した。このことで、間違いを恐れずに積極的に自分の行動や考えを表現する姿が見られ、会話の内容が深まっていたと感じた。

◆ノートを取る必要がないので、他の生徒の発言に集中し、うなずいたり、あいづちを打ったりしながら聞く姿が多く見られた。

□会話中にエラーはたくさん見られたが、会話活動直後に生徒が発言したことや話そうとしたけれど言えなかったことなどを含め、エラーを修正しながら黒板にまとめ、Google Classroom に写真を貼りつけるようにすることで、生徒は授業中にノートにメモを取ったり、家庭学習で Google Classroom の写真を見ながらノートに書きなおしたりして表現の幅を広げていた。

□他の学級での意見も含めてノートに写したり、まとめたりする生徒は、英作文の表現力が高まっていた。